

平成27年度 サニー・サイト事業報告書

『就労継続支援B型・生活介護事業』

社会福祉法人ばなな『サニー・サイト』
文責：管理者 下地 三枝子

1) 利用者支援の具体的なあり方

『共通』

1. 利用者の希望に添った個別支援計画を作成、必要に応じてモニタリングし、支援を行った。
2. 家族、グループホーム支援員、他事業所支援員、医師、看護職員と連携を密にし、体調管理を行った。
3. 自主製品製造（クッキー）、請負作業、エコロジー活動（アルミ缶・インクカートリッジ回収整理）、創作活動（さをり織り）等、希望と体調に合った作業を選択し、取り組んだ。
4. 集団生活の中で、自主性・協調性・社会性を育めるよう支援を行った。
5. 音楽療法は、講師と事業所の都合により3回休んだが、年9回実施し、毎月1回のペースが定着した。参加者も毎月、楽しみにしている。

『就労継続支援B型』

1. 「クリスマス」と「バレンタイン」にモンキーばななと合同でクッキー注文販売の取り組みを実施し、過去最高の売上げを達成した。
新たな販路として中区役所での販売を12回行った。
売上げ クッキー78,840円、さをり・クロス11,550円
授産会計（共通）売上げ合計 3,437,336円（26年度 2,765,572円）
繰り入れ金 293,889円（26年度 314,378円）
工賃 平均 7,305円（26年度 6,834円）
出勤率が低く工賃支払額が減少したため、年度末一時金を支給した。
2. 下請け作業の閑散期に仕事を確保するため、授産活動支援センターから紹介された作業を請け負ったり、新規3社と契約し、作業の安定した供給に努めてきた。今も継続する2社の内1社は利用者の紹介により、5回の受注で250,041円の売り上げを計上した。
3. 就労を希望する利用者1名にハローワーク同行、施設外訓練、職場実習などの就労支援を行う予定だったが、家族の事情で医師の意見書がないため進まなかった。
相談支援員と連携しながら就労準備を行ってきた1名は、資格を持っているため、自力でヘルパー事業所と2月に契約したことを事後報告し、現在通所しながら就労を継続している。

『生活介護』

1. 看護職員と柔道整復師の指導の下、二次障害防止に努め、安全への配慮と共に健康活動を行った。
口腔ケアは毎週木曜日に行っている。
7月から新しい柔道整復師を雇用し、毎週火曜日のマッサージが定着した。
2. レクリエーションや外出訓練を39回実施した。

2) 利用者支援の具体的内容

『共通』

1. 日課（月～金）

9:30~9:45	朝礼・ラジオ体操・体調報告・各班作業予定発表
9:45~11:00	作業
11:00~11:10	休憩
11:10~12:00	作業

12:00~13:00	昼食（各自。希望者は宅配弁当を利用）・休憩	
13:00~13:05	福祉レクダンス・ラジオ体操	
13:05~14:30	作業	
14:30~14:40	休憩	
14:40~15:30	作業	*クッキー作業は途中休憩なし
15:30~16:00	掃除・帰宅準備	
16:00~	終礼・帰宅	*金曜日・・・14:30 終礼・帰宅

2. 週間

木曜日	口腔ケア（希望者のみ）協力医療機関によるブラッシング。
火曜日	柔道整復師によるマッサージ（生活介護利用者）
配達	毎週、「美樹の園」「モンキーばなな」へのクッキーの納品、隔週「ぎゃらりいみなみかぜ」「ファミリーマート堺一条通店」でのクッキー在庫チェックと入替、不定期に注文のある「メゾン・ド・イリゼ」へのクッキー配達を実施。

3. 月間

販売訓練	支援学校4校に8月除く毎月1回、出身利用者が交代で参加した。 売上げ クッキー189,560円、さをり3,500円、クロス他1,600円 年12回、希望者が交代で中区役所での自主製品販売を行った。
広報	担当者による「こんにちはサニー・サイトです」の発行と深井清水町への配布を実施。
ミーティング	利用者の希望や意見を基に自主運営を目標にしたが、利用者からの議題がほとんどなく、必要な時に職員から提案し実施した。 ミーティングで決めたこと（クリスマスの時期にボランティアさんへクッキーセットを贈る）を忘れ、実施しなかった。

4. 年間

販売訓練	泉北カトリック教会6回、ナカ・ナカマネットワーク3回、堺市庁舎展示・販売会2回、健福祭、矯正展、農業祭、三宝下水処理場あじさい一般公開、堺市上下水道局イベントに参加した。
外出訓練	春のプラザまつり、バーベキュー大会、ハートフェアバザー、中区区民フェスタ、さかいボランティア・市民活動フェスティバル、農業祭、クリスマスコンサート、深井小学校6年卒業音楽会、さをりの森、イオンモール北花田、カラオケ大会2回、他施設見学（クッキー班 青い鳥）、ホームセンタービバホーム、ソフィア堺図書館3回・プラネタリウム1回、外食4回、こやま公園、はざま公園、に参加。
社会見学	6月5日、神戸どうぶつ王国～アサヒ飲料明石工場
季節行事	花見2回、福祉盆踊り大会、スポーツ・レクリエーション大会、ごくろうさん会、初詣・新年会を実施・参加した。
農園作業	農作物の収穫（たけのこ、じゃがいも、さつまいも、栗、大根）
調理訓練	5回（炊きこみご飯・みそ汁・オレンジゼリー）（カレーライス3回・春雨サラダ・大根サラダ）（餃子・みそ汁）

5. サービス提供日

月曜日～金曜日。

- 休所日 ①土曜、日曜（不定期に行われる外出及び販売訓練等は除く）
 ②5月4日（祝）・5日（祝）
 ③8月13日（木）・14日（金）の平日（2日間）・・・盆休み
 ④12月29日（火）～1月4日（月）（5日間）・・・年末年始休み

①の内、4月18日春のプラザまつり、6月14日ハートフェアバザー、7月18日福祉盆踊り大会、8月1日花火鑑賞会、8月22日中区区民フェスタ、10月24日さかいボランティア・市民活動フェスティバル、11月3日障害者スポーツ・レクリエーション大会、12月23日カトリック浜寺教会クリスマスコンサート、3月6日深井清水町記念行事には開所し、参加した。

全員が対象ではなかったがニーズに応え、5月23日、6月27日、8月22日、12月5日、12月12日開所し、予定開所日数を8日間増やした。

H27年度年間開所日数：264日 延べ4,993名利用（前年4,831名）

一日（平均）18.9名の利用（前年19.6名）

登録利用者（平均）24.8名のため、出勤率の低下が今後の課題となる。

利用者推移

27年4月1日：24名、6月新規利用：1名、11月新規利用：1名、28年1月退所：1名

28年2月退所：1名、28年3月31日：24名

6. 利用者の健康管理

- ・家族・グループホーム支援員と連携し、毎朝起床後の検温と作業開始前の体調チェック実施。
- ・毎月、第1月曜日に看護職員による体重・体脂肪等測定、バイタルチェックを実施。
- ・6月12日・19日、日野クリニック、6月25日、7月2日、耳原病院にて健康診断を実施。
- ・2月17日、堺地域産業保健センターに依頼し、医師による健診フォローを実施。
- ・変化があった時、家族と情報交換を行い、利用者の健康状態や身体状況を把握し観察を行った。
- ・インフルエンザ対策の一環として11月18日、予防接種を実施し、マスク着用呼びかけや入室時の手洗い・うがいを励行した。
- ・感染予防のため、毎朝キセキクリーンによる施設内手すりの消毒と空中散布を実施。

7. 通所支援

- ・自力通所の困難な利用者述べ14名を福祉車両で送迎を行った。

8. 防災・避難訓練の実施と事故防止対策・対応

- ・5月29日火事を想定した自主訓練を実施する。3月25日、中区消防署の指導を受け避難訓練と水消火器の使い方訓練をする。
- ・アルソック担当者により定期的に消火設備・避難経路の点検を受けた。
- ・法人主催の普通救命講座には対象職員全員が参加し、深井校区の防災訓練に利用者1名と職員2名が参加した。
- ・事故防止のための環境整備など、配慮してきたが、17件の事故と1件の苦情が発生した。
転倒5（骨折で入院1）、他害3、物損3、万引き2、他2、送迎職員2（運転）
事故が発生した時、連携しながら対応し、関わりのある職員がすぐに報告書を作成し、職員会議で原因を集団で検討し、起きてしまったことを真摯に受け止め、全職員が再発防止策を共有した。
- ・避けられる事故をなくすため、職員のスキルアップと常に“気づき”ができるような意識改革（リスクマネジメント）の徹底が課題となる。

9. 地域社会との交流

- ・中区の作業所交流会に担当者が出席し、利用者と共に「ナカ・ナカマネットワーク」販売に、毎回（3回）参加した。
- ・8月22日、午後から開所し「中区区民フェスタ」に販売とイベントに参加した。
- ・10月8日、深井小学校6年生の職場体験を受け入れ交流した。2月16日卒業音楽会に招かれ、参加した。
- ・深井中央中学校、八田荘中学校、堺支援学校、泉北高等支援学校、希望者の見学・実習を積極的に受け入れ、交流を図るとともに啓発活動を行った。
- ・引き続き深井清水町自治会へ入会し、役員へ「ばなの木」を届けた。

- ・3月6日開所し、深井清水町自治会発足70周年記念行事に、はなのこみち利用者といっしょに職員2名が参加した。
当日の様子を「こんにちはサニー・サイトです」に掲載したところ、絵手紙グループの方と交流をもつことになり、「ばななの木」のカットに絵手紙を使わせてもらうことになった。
- ・繋がりを把握するため、アルミ缶・インクカートリッジ回収協力者の名簿づくりをスタートさせた。

10. 広報活動

- ・活動の認知と障がい者への理解を深めるきっかけとなるよう、毎月「こんにちはサニー・サイトです」の発行と深井清水町への配布を継続した。3月で通算87号となった。
寄せられた感想や聞き取った住民の声を事業所や法人内に反映させながら、結びつきを深めてきた。
- ・法人機関紙「ばななの木」を年4回発行するため、編集と発送準備に関わった。各事業所の現状、家族のおもいなどを多くの方に発信し理解と協力を求めた。

11. ボランティアの受け入れ

- ・作業を一緒に行う中で、利用者の気持ちや願いを察知し、側面から支えてもらえる存在として、積極的に受け入れた。
- ・行ける時、との条件で中学2年の女生徒が夏休み中、20日間来所する。
- ・期間限定で1名、10月から12月のクッキー作業繁忙期に応援に26日間来所。
- ・インターネットを見て京都から1名が一日、毎日新聞に掲載した募集を見て吹田から1名が2日間来所する。
- ・2月と3月に専門学校の大学生2名と3名が、授業の課題としてボランティア体験に来所。
- ・送迎職員1名が次の送迎までの間、ほぼ毎日ボランティアとして下請け作業の応援に入る。
- ・今年度、新たに2名増えたが、体調不良と誤解により2名が辞め、1名仕事が忙しくなり休止中。現在、火・金の午前中、女性3名が活動中。

12. 職員

体制	一年間、常勤職員4名、非常勤職員3名、嘱託職員1名、送迎職員2名に変動はなかった。
研修	利用者への理解を深め、適切な支援・対応が出来る専門性の向上を図るため、法人内研修には優先し、ほぼ100パーセント参加した。 今年度は体制を整え、積極的に事業所外研修にも参加した。〔研修参加状況参照〕
職務分担	課せられた職務を遂行する上で、個々の職員が過重負担にならないよう配慮・工夫してきたが、事故が増えてしまった。
職務遂行	決めたことの徹底は不十分だった。
健康管理	健康診断は全員が受けた。 1月の同時期に腰痛と病気のため2名が入院し、其々2週間と1ヶ月間休職するが復帰した。

13. 家族会、家族・支援員との連携について

- ・家族会担当者を設け、家族会からの貴重な意見は真摯に受けとめ、出された要望について可能な限り対応した。
- ・3月24日、恒例になった自力通所者への表彰式の後、家族会と職員の懇談会を開催し、家族7名とサニー・サイト職員2名、はなのこみち管理者、事務局長が出席する。初めて顔を合わす家族もあり、家族どおしのつながりを深めるきっかけにもなった。
- ・6か月後の支援計画モニタリングの際、担当職員を中心にすべての家庭訪問を実施し、通所ルートやまわりの環境を把握し、支援計画に反映させた。
- ・日常的には、電話、連絡ノートを活用して事業所や自宅での様子や普段と違ったことなどを個別に情報交換し、家族・支援員と連携しながら日々の支援を行った。
- ・利用者の加齢に伴い、健康面で、とりわけグループホーム支援員との連携を密に行った。

【27年度研修参加状況】

4月	27	(月)	工賃向上説明会	
6月	4	(木)	食品表示法セミナー	(2名)
	24	(水)	法人内研修	(10名)
7月	13	(月)	普通救命講座	(4名)
	22	(水)	法人内研修	(9名)
	25	(土)	普通救命講座	(4名)
8月	27	(木)	「売れる！POPセミナー」	(3名)
9月	8	(火)	食品表示法	
	9	(水)	思わず手に取りたくなる商品パッケージ講座	
	24	(木)	福祉のミライ教室説明会	
	30	(水)	法人内研修	(10名)
10月	6	(火)	福祉のミライ教室「商品ディスプレイ」	
	8	(木)	買いたくなるパッケージ講座	
	15	(木)	福祉のミライ特別教室	
	16	(金)	権利擁護支援と発達障害研修	(5名)
	20	(火)	商品企画研修	
	21	(水)	福祉のミライ講座「商品ディスプレイ」	
	27	(火)	福祉のミライ講座「ちょっと上手なSNS活用法」	
	28	(水)	法人内研修	(10名)
11月	4	(水)	福祉のミライ講座「効率的な会議の進め方」 感染症予防対策講習会	
	5	(木)	商品企画研修	
	11	(水)	福祉のミライ講座「効率的な会議の進め方」	
	12	(木)	福祉のミライ講座「メニュー開発」	
	13	(金)	福祉のミライ講座「ネット販売」	
	17	(火)	福祉のミライ講座「商品開発に大切な3つのこと」	
	25	(水)	法人内研修	(8名)
	26	(木)	福祉のミライ講座「メニュー開発」	
	30	(月)	福祉のミライ講座「ネット販売」	
12月	2	(水)	福祉のミライ教室「授産活動の今後について」	
	7	(月)	福祉のミライ教室「縫製・加工」	
	14	(月)	福祉のミライ特別教室「福祉に外部企業を引き込む方法、つながり方とつなげ方」	
	18	(金)	福祉のミライ教室「縫製・加工」	
1月	22	(金)	「支援の関係性」の理解と構築	(2名)
	28	(木)	福祉のミライ特別教室「原価計算を学ぼう」	
2月	1	(月)	ボランティア合同研修	
	5	(金)	～7(日) アメニティフォーラム	
	6	(土)	小規模法人連絡会合同研修	(6名)
	18	(木)	レクリエーション研修	
	19	(金)	権利擁護支援のためのケアマネジメント	(2名)
	22	(月)	福祉のミライ特別教室 西区作業所ネットワーク研修会	
3月	5	(土)	12(土) 福祉有償運送研修	
	8	(火)	営業力向上セミナー	
	9	(水)	工賃計画シート相談会	